

## 第374整備中隊、CV-22のブレードを改修(1) *374th MXMFS Refurbishes CV-22 Blade*

August 21, 2020

By Staff Sgt. Ryann Holzapfel  
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真1)横田基地で8月11日、格納式塗装ブースのCV-22のブレードにやすり掛けをする第374整備中隊ファブ리케이션・ショップ航空機構造整備技術官イザイアレー・エリザルドー等空兵(右)を監督する同課職人デレック・スペンサー技能軍曹(左)。CV-22ブレードの劣化や整備エラーを防ぐため、毎年、改修作業を行う。



(写真2)8月12日、CV-22のブレードにプライマー(下塗り塗料)を塗る準備をする第374整備中隊ファブ리케이션・ショップ航空機構造整備職人デレック・スペンサー技能軍曹(左)と同課の技術官イザイアレー・エリザルドー等空兵(右)。

プライマーは、やすり掛け、塗装プライマーの塗布、雨水浸食防止剤の塗布、最終トップコートの塗布といった複数の手順の一部に使われる。



(写真3)8月12日、自身の防護具(PPE)のギアを見せる第374整備中隊ファブ리케이션・ショップ航空機構造整備職人デレック・スペンサー技能軍曹。PPEは、有害化学物質から確実に身を保護する。



## 第374整備中隊、CV-22のブレードを改修(2)

*374th MXMFS Refurbishes CV-22 Blade*

August 21, 2020

By Staff Sgt. Ryann Holzapfel  
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真4)横田基地で8月12日、格納式塗装ブースのCV-22のブレードにプライマー(下塗り塗料)を塗る第374整備中隊ファブリケーション・ショップ航空機構造整備職人アレックス・ポーティート軍曹(左)と同課技術官イザイアレー・エリザルドー等空兵(右)。

この格納式塗装ブースは、常設施設のある別の基地にブレードを送らずに、その場で整備を行うことを可能にする。



4

(写真5)8月22日、横田基地でCV-22のブレードにプライマーを塗る前に塗料を混ぜ合わせる第374整備中隊ファブリケーション・ショップ航空機構造整備職人アレックス・ポーティート軍曹。

CV-22のブレードに、プライマーを塗ってから雨水浸食防止剤を塗り、最後にトップコート塗料を塗って仕上げる。



5

(写真6)改修を終えたCV-22のブレードの前でカメラにポーズする第374整備中隊ファブリケーション・ショップ航空機製造整備職人アレックス・ポーティート軍曹(左)、デレック・スペンサー技能軍曹(中央)、技術官イザイアレー・エリザルドー等空兵(右)。

各作業を効率的に行うために、改修作業は数日に渡って行われる。



6